



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 衣浦メンテナンス工業 株式会社

5

衣浦メンテナンス工業株式会社、畔柳吏宏（くろやなぎ よしひろ）代表取締役（写真1）：「うちのメインの仕事である日常の保全、整備は、当たり前のように順調に設備が稼働している状態にする仕事ですので、お客様から評価されにくいという側面があります。極端に言えば、組んであるものをばらしてまた戻すというだけで、組み間違えなどのミスはすぐに分かりますが、作業員の腕がよいかから長く操業できたとか、いい製品ができたというように『いい仕事』が計りにくいのです。」

10

## 会社概要

15

衣浦メンテナンス工業株式会社（以下、衣浦メンテナンス工業）は、名古屋駅から名鉄三河線で約50分の碧南中央駅から、車で5分ほどのところに本社（愛知県碧南市幸町）がある。1972年3月に日本金属工業株式会社（現、日新製鋼株式会社、以下「日新製鋼」）の衣浦製造所における設備の保全業務を請け負った会社が基になり、1976年6月1日に設立された。資本金は1,000万円、社員は約50名（ほとんどが地元採用の正社員）であり、現在の主要な顧客は日新製鋼の衣浦製造所である。同社の沿革を付属資料1に、安全衛生組織図を付属資料2にそれぞれ示す。

20

本社の他に、衣浦工場（愛知県碧南市浜町）と安城工場（愛知県安城市泉町）がある。衣浦工場の事務所は、日新製鋼の中部におけるステンレス製造拠点である日新製鋼衣浦製造所の敷地内にある。衣浦工場では、日新製鋼衣浦製造所にある製造設備の一部のメンテナンスに加えて、設備改良や安全対策工事を請け負っている。365日、作業員が常駐しており、顧客の要望に素早く応えられる体制になっている。

25

安城工場は、機械設備の設計から製作、加工、組み付けまでをトータルに支援するための加工工

本ケースは、畔柳吏宏氏の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師 市来寄治が作成したものである。本ケースは、クラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の巧緻を記述したものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 市来寄治（2015年7月作成、2018年3月改訂）